

413

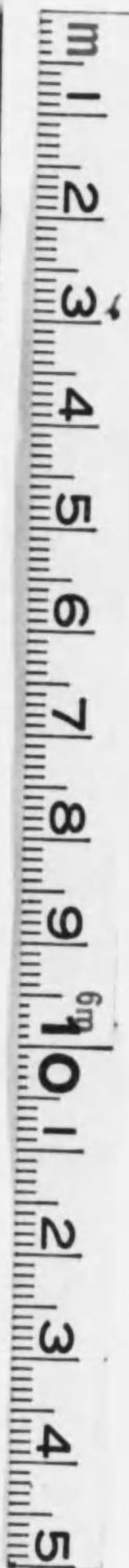
特247

735



速記録第4輯

新愛知新聞社



始



底曳網ほどの深さからどんな魚を獲るかをいま調査中で、これは國としては考へねばならぬ問題だと思ひます。

市場は價格を左右せぬ

三

浦

磯貝さんに水産物の話が出ましたから生鮮食料品配給合理化が叫ばれ政府においても考慮されてをるやうですが、この問題について一つ中央市場の機構改革といふやうな事についてお話を願ひします。

磯貝氏

私は魚市場に關係してをりますので、只今お話のやうなこれをどうしたら一般の需要家に對して低廉に配給し得るかといふことは常に考へてをる次第ですが、第一困つたことは魚市場にしても、青果市場にしても、所謂市場といふ事柄が世間一般の方には認識が徹底してをらぬために、大變な誤解を招いてをる。市場の性質から申しますと市場といふものは自分自身は各地方の漁獲物なり青果を買集めて賣る場所ではない。所謂委託販賣——各生産地方から集つた荷物を買つた商人が、東京なり大阪なり自分の見込をつけた市場へ荷を送り、市場はその委託を受

間で大分價格が高いと云はれる原因です。鮮魚類は保管して置いて賣るといふことは出来ない。まして季節の關係もあつて大概其日の三四時頃までには片付けねば腐るので鹽干魚とか、乾物類と違つて取扱ひやうがない。而も食糧問題のやかましい今日、一般の食膳になるべく低廉に上るやうにせねばならぬといふことは常に考へてをりますが、それには第一賣る者の頭を變へさせる必要があるが、一割より儲けることはならぬと云つても、實際の場合損をして片付けるやうなこともありますから、多少價格の高低を生ずる場合があつて一定の標準といふものを決めるのは非常に困難で、市場で賣つた値段は分りますがそれから先の消費者への價格は分りやうがない。これが取締上困つた問題であらうと思ひます。而も副食物として極めて重要な關係にありますから、何とか急激な高低のないやうにしたいといふことは恐らく全國の關係業者が頭を悩ましてをるが未だ一つの成案も得られない。聞く所によると、最近農林省において産業組合と連絡して配給會社をつくるといふ御計畫があるさうですが、あの廣い東京市中に百ヶ所ぐらゐつてつてみても、六百萬とか七百萬の人口の所に向つては役に

けて賣捌いて直ぐ現金に換へて荷主に送るのが役目です。従つて市場はその價格に對して高くすることも安くすることもやりやうのないものだ。時の人氣と申しますか、品物が少くて需要の買手が多ければ値段が騰り需要が少くて品物が多い時は非常に價格が下る。先達も他所へ贈るために鯛を買つたが、餘り大きくないのが八九圓もした。ところが翌日は同じ様なもので殆ど半値であつた。然ればといつて翌日のものを高くすることも、昨日のものを安くすることも出来ない。其時の全く人氣でセリ賣で違ふので、普通の工業品のやうに一定の標準で商内することはやり得ない。これがどうも世間に徹底してをらぬので、魚が高過ぎるか何とか抑制せねばならぬ、といふので市場に向つて要求されますが、市場といふものは今申上げる通り何ともすることが出来ぬ。私共の關係してをる市場には毎日千五六百の人が集つて、買つたものは個人々々で賣捌くものもありますし、或は遠方へ纏めて送るものもある、東濃とか飛騨とか場合によつては逆に京都や東京に送ることもあります。さうして仕入れたものを一割なり二割掛けて賣りますが、中には慾の深い者があつて三割、五割掛けて賣る。これが世

立たぬ。徒らに手数料をかけ費用は買ふものに轉嫁されるから安く配給は出来ないと思ふ。それで如何にして國策に沿ひ低廉な價格を維持して一般の便宜を圖るにはどうするか、といふことを眞剣に私共考へてをりますが、直接商内ふ人の頭を教育するより途がない。一面には公設なり私設の市場をウンと數を多くして、一般家庭の主婦なり女中さん自ら其處へ買ひに行くといふ習慣をつけるのが一番有効です。鮮魚は名古屋が非常に高いと聞きますが、決してそんなことはない。東京の方がウンと高い。それは一流物は東京でも配給先は決つてをる。それですから一般の家庭に入るものは二流三流のものです。ところが東京の方がこちらへお出でになると皆な立派な方ですから、東京で云ふ御用聞き……こちらでは日々魚屋が持込んで来るが立派な方ですから二流や三流のものではないかと思つて一流のものを持つて行く關係がある。私共直接營業してをつても一等品と二等品の見別けはつかない。價格は一等が十圓なら二等は六七圓、三等になると三分の一位になる。同じ一等品で名古屋より安いことは斷じてない。市場の機構といふものは仲買人が荷を引受けて其日の公平な相場でセリ合つて小賣人に

手数を取つて賣渡すのですから、市場としては上げも下げも出来ない。今愛知縣の御當局におかれてもその事については非常に苦心して研究してをられるが、私共も何とか解決したいと考へてをりますが、結局は買ふ方も改めねばならぬが、賣る方でも時局を辨へて暴利を貪らぬやうに心掛けて買ふより仕方がない。今斯うすればいゝといふ纏つた案は持つてをりません。

低物價政策と漁聯問題

三 浦 伴野さん、何かこれについて御意見を
お願ひいたします。……

伴 野 氏 只今磯貝さんから縷々市場問題並に價格問題について御説明御意見の御發表がありました。私共の營業は鮮魚はやつてをりません。大部分鹽干魚を扱つてをる關係上、鮮魚と趣を異にする點がありますので少しく述べて見たいと思ひます。鹽干魚と申しますと鹽魚、干魚、加工品と三つに分れます。鹽魚といふのは産地で獲れますと直に鹽を振りまして朝の市に間に合ふやうに汽車積

にして送ります。皆さんの中には鹽魚は魚がウンと獲れて餘つたのを鹽にするとお考へになるが、近頃は味覺本位ですから産地で鯨がどれ位獲れるか、豫め準備して名古屋の市に間に合ふやうに汽車積で送つて来る。例へば若狭方面で鯨が獲れると、百人か二百人の人達が船が着くと直ぐ切り腹を出して鹽を少しするのみで殆ど鮮魚と類似してをる。従つて價格も鮮魚と餘り變らない。しかし干魚になりますと勿論鹽はしますが、天日に干すとか、或は茹でゝあるため一定の期間冷蔵庫に貯藏出來ますから、値の安い時には冷蔵を入れて値段の調節が或る程度出來ると思ひます。物の價格は申す迄もなく需要供給の關係が根本で澤山有れば必ず安い、少ければ高いことは昔から變らぬ原則です。さういふわけで澤山取らなければどの商品でも値段は安くない。澤山數が取れて同じ品が十日も市場に出ると人間の口が飽いて来る關係上安くなる。市場の制度におきましては、磯貝さんのお話のやうに澤山出れば安い、少ければ高いといふことになりましたから、私は價格の問題から申すと先づ以て水産課長さんにお願ひして、澤山獲つて預けるやうな政策を講じて貰はねばいかぬと思ふ。それから近來

低物價政策をやらねばならぬに拘らず、全國の漁聯が進出し産地において物を買付ける。産地の商人が漁聯に競争してやつてをるが、漁聯の方は相當の補助金を國家が出してをるから従つて商人は全部負けてしまつて全滅の有様です。現に例を挙げると先月常磐線方面で鰯が澤山獲れた。それを生でなく燻して削り鹽節の代用に使ふのですが、全漁聯が買占めた。高い値で買ふから結局商人は對抗が出來ないので市場の方へは荷が來ぬ。どこへ行つたかを調べたら大商人の手に入つて居る。その高い原料で製造したものが名古屋の消費地に參つても九、一八のストツプ令で公定價格を超えて賣ることは絶對出來ないので、産地に返さうかと宙に迷つたことがある。縣の方へ御相談したら何とか申請書を出せといふことになりましたがさういつたことを考へますと、漁聯に補助金を出して買はせるのを止めたら回滑に配給が出來、相場も吊上げんでもよかつたと思ふ。さういふ意味から云つて配給部門にある我々と生産部門のものがお互に協調して、生産から配給並に消費に至る一貫せる機構を作らねば低物價政策に順應出來ないと考へます。それから市場の機構については、現在の機構は私は決して

悪いと思はぬ。私共の名古屋水産市場は歴史的に申しますと既に今年は三百二十九年に當ります。この長い歴史を見ても、市場といふものは如何に必要なものであるかといふことが一言で盡きるだらうと思ふ。この市場の必要性は現在一層痛感されます。假に切符制度を布くにしても物がどれだけあるか分らんのに切符を渡しても効果がない。總ての物資を市場に出すことになれば數量も分り、賣人と買人との操作によつて現はれる相場ですから、一番適正な價格だと思ふ。又生産者の統制によつて一方に偏在せぬやうに配給を考へたならば、そこに自ら均衡な値段が出て來はせんか。さうなれば忌はしい闇取引も無くなる。生産から消費に至る統制を一貫する仕組にして、さうして市場を利用して調べたらどれだけの商品が一年に動くか統計的に分ると思ふ。さういつた見地から私は配給から消費に對する一貫せる統制をやつて頂くことが一番いゝと思ひます。

冷蔵庫休電は重大問題

三

浦 北海物産の野田鉦三郎さん、御意見を

承はりたいと思ひますが、

野田(鉦)氏 卸小賣の市場の問題については先輩各位からいろいろお話がありましたからこれについては申し上げます。私は最近各關係主務省へ陳情に行きましたが、冷蔵庫と生鮮食料品について一寸お話ししたいと思います。御承知の如く今年には電氣が少なくて冷蔵庫に對する電力が休電とか節電が行はれ、それがために生鮮食料品の鮮度が減退、若しくはこれを永く続けられれば腐敗するといふ、甚大な影響を受けたのであります。百難を冒して獲得した戦時食料品が電氣の不足のために鮮度が減退し腐敗するといふことは山々しき問題でありまして、他の工業製品と違つて一旦鮮度が落ちた場合は、再び還元することが出来ないものであります。そこで今後冷蔵庫に對してはその方面の方が十分認識をもたれて、休電節電を行はないやうに總理大臣をはじめ商工、農林、厚生、逓信關係各省を訪問して陳情しました。逓信大臣閣下には一昨日お目にかかりまして事情をよく述べましたら、一尤なことだ。僕から早速言つておく」といふ話でありました。しかし各方面へ通達するまでには相當道程がありますから、幸ひ今日は縣の方も出

でになるから關係の方にお話願ひたいと思ひます。この問題は今さら喋々する問題ではありません。冷蔵庫に停電するといふことは有るべからざること、食料品の少い時に又保健衛生の問題からいつても、鮮度を落とすといふことは最も重大な問題で、水産課の方にも、商工課の方にも、お話願つてお骨折願ひたいと思ひます。

それから高木中佐殿には大陸の方にお出でになつたといふお話がありますが、私共大館北海道の産物が専門で鮭、鱒、鱈、鱈、昆布、わかめ等を取扱つてをりますが、戦地におきまして斯ういふものはどういふ具合に利用されるか、また兵隊さんは斯ういふものを好んでられるかどうかといふことをお聞かせ願へれば参考になると思ひます。

生産から消費迄一元化

三 浦 枇杷島の中村さん、野菜の配給の現状、それから漬物類はどんな風になつてゐますか？

中村氏 御承知の通り事變下の農作物は應召の關係で人力が減り、且つ又資材の配給が非常に少くなつて、

自然市場へ出てくる農作物も、事變前よりも相當に減退の状態を辿つてをります。これは農作物そのものだけでなく、漬物の方面においても同じやうな状態を辿つてをります。

この三月から五月にかけて全國各縣が年次大會をやりますが、これは一年中の農作物の縣外出荷についての懇談會であります。四五年前は各縣共「如何にして農作物を都會地に有利に送り出すか」といふことを主題にして懇談會をやつたのであります。所が昨年は輸送關係が六ヶしかつたので「如何にして輸送するか」といふことに重點をおいて協議したのであります。本年は政府の増産計畫に應じて「如何にして増産するか」といふことと「各府縣に不足してゐる物を、多くある所から如何にして輸送するか」といふことを主題にして話合つたのであります。それから又最近長野縣で林檎の大會をやりましたが、その時「肥料の配給が少いために花時に十分肥料をやる事が出来ないのので落花する、これを如何にして防ぐか」といふことを一農家組合が議題として出したのであります。その時農事試験場長の意見として、以前は人糞を使つてゐたが人糞であると光澤、香り、甘味に弊害があるからこの頃では使はないが、

そのかはり人糞をやると非常に力の強いものが出来るから落花する時だけ人糞を使つたらどうかといふことで、とに角産地においても肥料に苦しんでゐるが、國家としては増産を重大國策としてゐるのであるから出来るだけ各縣共努力し、又我々販賣者も出来るだけ産地と協力し出荷を圓滑にし供給を順調にして、消費者に不自由をさせないやうにこれを私共の使命としてやらねばならぬと思ひます。しかしながら生産はだん／＼減退してゐる。最近——たしか一月十日頃と思ひますが——雪が澤山降つて葱が非常に高かつた。これは葱の出荷が少いのに加へて寒い時ですから市中の消費が非常に増大したためですが、私共も値段の高いのに驚いて如何にして低物價政策に沿うべきかといふことを研究協議したことがあつたのであります。しかし生鮮食料品は腐敗を伴ふもので出荷の状態で一朝にして暴落する時があるのであります。同時に取扱ひにおいても工業品加工品とその立場を異にしてゐるから、非常にやり難い状態にありまして、その時「明日は値段を下げて貰へないか」といはれたが、生ま物であるから一日か二日すれば必ず下ると申しましたが、本當は生産状態をよく認識し販賣者も

消費者もそれに副ふ方法をとつてゆくのが一番いいのではないか。現在では消費者は生産状態を認識し、出来るだけ一定の値段で買入れて頂けるやう、我々としても出来るだけその点において國策に副ふやうに進んでゆきたいと思つてをります。しかし御承知の通り生主物においてはその取扱ひの方法が確立してをりません。同時に確立する方法が見當らない現状にあると思ふが、これは各方面の状態からゆけば國策に協力した消費をなし、且つ販賣方法を講じてゆくことが一番よいことではないかと思つてゐる次第であります。

私共の生鮮食料品の販賣方法は四五年前から斯ういふ方法をとつてゐる。實は私の家は市場販賣と同時に罐詰、漬物の販賣もやり、陸海軍の御用命で納品してをりますが軍部からは資源を相當持つて納品するやうにといふことを聞いてゐるのであります。同時に名古屋港へ艦隊が入る時農作物を納めるのであるがその時は出来るだけ安價で大量の物を短時日に納入し得る機能を整へるには産地と連絡をとらねばならぬので、それで縣下各農村團體と提携して、或る時は生鮮食料をつくるやうにといふ次の期間には農村組

合毎に漬物をつくることを奨勵して、樽を送つて私の方へ来た時に食へるやうに加工して各方面へ販賣する方法を立てゝをります。これは要するに生産、加工、販賣、消費といふ四ツの原則に基いて市場の食料品配給販賣を一元化するために立案したものであつて、これは相當の成績を擧げてゐるやうに思つてをります。しかし現在は各方面の状態が以前と違つて相當困難な事情が伴つてをりますが、萬難を排して進んでをります。先刻もお話の中にも少し戦時下といふことを國民が認識しなければならぬといふことがありましたが、最近歐洲から歸つた人の話によるとドイツでは時間を決めて町の十字路でリンを鳴らす。さうして人が寄つてくるとマツチを摺つて煙草に火をつける、蠟マツチであるから一本で七八十人から百人の人に火をつけることが出来るさういふ具合にして資源を擁護してゐるといふことを聞きました。それから見れば日本は不足であるといつても、まだ／＼非常に恵まれてゐるといつていいかと思ひます。その點からいつても少し販賣、生産の方面を一律にすれば物がもつと有利に且つ回滑に各方面へ漸次に廻るのでないか。又販賣についても適切なものが出てくるので

はないか、といふことを痛感してゐるのであります。又市場販賣の品物も農村の協力をうければ非常に回滑に出廻り値段の平均もとれると思ひます。その點最近帝國農會方面で農作物の或る程度統制出荷をされるやうに聞いてをりますが、それが相當順調にゆけば我々市場販賣も回滑にゆき且つ國策に協力出来ると思ふ次第であります。要するに現在では集荷するにも販賣するにも生産するにも相當至難な問題が幾つも固つてゐる状態にあるが、これは結局各方面が協力して取扱方法が一元化されれば相當効果ある結果を見るものと思ひます。

ペーパープランの是正

三 浦 中央市場の河村さん、何か關聯した御意見を一つ……

河村氏 業界の事情については磯貝元老及伴野先輩からお話がありましたから別に蛇足を加へませんが、食糧問題の重大な折柄今日は百姓の一人として意見を述べさせて頂きます。私は大正十年から田舎で二十町足らずの

自作をしてをります。又朝鮮におきまして親父が今日の食糧問題を心配してくれて併合前から朝鮮にさゝやかな農場を持つて居りますが、國民の主食たる米の問題について生産者側として心配してをるのは、昔から農作物は日照り半作で天候に恵まれ、ば半作は穫れます。後は肥料の力、耕作の力に依ります。ところが増産計畫の要素である肥料が、私の農場の配給割當豫想は燐酸が二分の一、硫酸が二分の一、石灰窒素が三分の一、豆粕は一枚もない。私は今日東京へ行く豫定でしたが縣へも行き又かういふ御司會を下さいましたから百姓の現状を訴へて御支授を仰ぎたい念願から罷り出た次第ですが、こんな模様では食糧問題の増産計畫といふことは夢にも思へない。一朝天候が悪かつたならば半作、天候に恵まれても今の肥料配給では二割の減收を斷言して憚らない。こんなことで増産計畫を立てられとも俗に云ふペーパープランと疑はれても仕方がない。此の儘推移して行くならば由々しき問題だと思ふ。腹がへつては戦が出来ぬと云ひますが米が無くては魚も野菜もあつたものでない。それから市場の機構問題については磯貝元

老の云はれた通り名古屋は魚が高いといふがたま／＼ボツたものがあるか知れんが、決して商工省の事務官の言はれたことは認識不足も甚だしい。名古屋の機構はこれで結構、お役人のペーパープランの機構ならば却つて屋上屋を重ねて効果がないと斷言して憚らない。私は名古屋の市場機構は全國の模範的であるといふことを申上げて當局の御考慮を煩はしたいと思ひます。

米増産へ縣の指導對策

三 浦 米の問題が出ましたから農務課の谷口さんからどうぞ……

谷口 技師 農産物の増産については一番大切な肥料不足、或は肥料の配給不圓滑といふことと密接な關係がありまして、政府においても對策を講ぜられてゐるのであるが、なか／＼思ふやうにゆかない。石灰窒素等は現在では一二月頃よりは餘計出来るが、それでも例年程にはゆかない。しかしこのまゝにしておいたならば山々しき問題で

あるから、出来る限り工夫を凝らしてやつてゆかうと銳意方針を立てゝゐるわけでありませぬ。昨年は幸ひ天候の加減で縣としましても最初の目標より十三萬石ばかり餘計に穫れたので非常に喜んでゐるが、本年は昨年の生産目標を基準にして十四萬石増の二百二十四萬六千石といふ割合が參つてをります。過去の數字を見ると、昭和八年から昨年迄の間の豊凶のひどい二ヶ年を除いた五ヶ年間平均は、二百十萬石になつてをります。従つて十四萬石の増産は丁度七分に當るわけでありませぬ。左様なことからみてゆくと我々としては凡ゆる努力を拂へば相當の收穫がなし得られるやうに思つてをります。肥料問題はどうせ足りないから他のもので出来るだけ賄つてゆかうといふので、稲作においては自給肥料をうんとやり、それとともに豆を作らせようと、一萬石ばかり買入れて現在各町村に呼びかけて豆蒔きをやつてをります。それから出来るだけ都市の屎尿塵芥等を集めこれによつて足りない肥料を全部とはいへませんが出来るだけ補給してゆき、少しながらも廻つて来る金肥の使ひ方を合理的にしてゆきたいと思ひます。過去の成績によれ

ば自給肥料を元にして施肥の改善をやつてゐるから、反當り一依は裕に出るだらうと思ひます。五ヶ年平均二石二二斗のものが斯様にすれば二石六七斗といふ成績になると思ひます。しかしさう致しまして愛知縣の目標の二百二十萬石穫れても消費は三百五十萬石、最近は頃に殖えて三萬六十萬で、結局足りないから現在政府が叫んでゐる節米混食の徹底に努めてゐるわけでありませぬ。それに七月には麥がとれるから混食を極力奨励してやつて行つたらどうかと考へてをります。それに只今の麥の情況では肥料は不足であるが、大體例年と同じやうな成育ですから、こゝ暫くすれば非常にゆとりが生ずるのではないかと思つてをります。それについて縣としては今後反別を殖やすやうに考へてをります。なほ配給についても縣下の米商聯と小賣商人の方と連絡をとつて圓滑を期するやうに努めてをります。しかし他府縣からは容易に米を出してくれないから、市内の配給については非常な努力を拂つてゐるわけで、従つて政府米の拂下についても縣としては極力申請して出来るだけ廻るやうにしてをります。

さう不足せぬ等の肥料

三 浦 次は縣の肥料商業組合の志賀さんに只今肥料の問題が出ましたから、一つ食糧問題と結びつけてお話願ひたいと思ひます。

志賀 氏 實は今日理事長の高松定一さんがお出でになつてこの問題についてお話がある筈でございますが、お差支で私に代つて行けといふことで何の準備も考へもありませんが……只今谷口さんからいろ／＼當局の御方針のお話がありました。先程肥料の配給が二分の一、豆粕は一枚もないといふお話がございましたが、農林省の計畫は米麥等の食糧に重點を置いて大體八割五分、蔬菜とか桑は六割五分を一月から七月迄割當しましたが、今迄の狀況では磷酸質肥料は十分政府の計畫通り進んでをります。たゞ硫安は電力不足、石炭不足等により計畫通り行かない點があつたやうです。そこで豆粕、飼粕を以て補給する方針があつたと思ふ様に出ないので三井物産を通じて外安の買

付けが出来ましたからその中に配給があると存じます。然るに實際農家に行くと肥料が足らぬ、無い、といふ聲が何處へ行つても出て来る。その原因がどこにあるかを探ねて見ますと、誰しも配給機構のまづいといふことが想像され、それに關聯して商業組合と産業組合の軋摩擦のやうに思はれますが、私共から申すと甚だ手前味噌のやうですが、配給機構といふものが従来の自由主義経済といふか、斯様な組織によつて昨年六月まで配給されてつた。それが七月から急に統制経済といふか、配給割當制度に依つて農林省におかれまして、日本全国の供給量の用途をつけて縣から郡町村の小さい經濟單位に分配するといふ方法が實施されました。さうして七月から十二月迄は大體無機肥料であつたが本年の二月以降は有機質も加つて、現在配給割當制度でやつてをるのは數量的にいって九割近くになつてをる、配給制については改良すべき點が多々ありますが我々が想像をつたよりも遙かに短日月の間にこの機構について官民共に理解し、訓練されて配給が滞滯してをるといふことは殆どないと申上げてよい。然らば豫定通り品物が出てをるに拘らず現實の問題として何故肥料が渡つて來な

いかと云ふと、過去の肥料の消費統計とか、耕作反別の基礎數字を本にして交付されるのでありますが、その過去の消費統計といふものが非常に杜撰であつた。もう少し極言すれば農業統計なるものは非常に困難で眞に當になるものがないといふこと、もう一つは割當制度を始める前に地方的にも個人的にも偏在してつた。肥料の取引習慣といふものは或る地方では米の收穫を終ると直に明年の肥料を買込む。又或る地方では六月稻の肥料の要る直前に買ふ所もある。それで割當制が始めて漸く半期か一期經過せんとしつゝある現在におきまして割當前の地方的或は農家個人別の肥料の偏在は非常に強い。これを言ひ換へますと現在の經濟界の情勢を見越して早く買込んだ所や早買の習慣の所は相當手持ちがある。反對に少し頭の鈍い人や肥料の要る直前に買ふ習慣の地方は手持ちがない。これが大きな原因になつてをる。そこでこの制度を官民が漸次訓練致しましたならばもう少し公平に適正に行くやうになると思ひます。農家の立場から考へますと、或る町村では一町歩の耕作をしてをる農家に十貫匁の肥料が渡つてをるのにお隣りの町村では同じ一町歩の耕作をしてをる農家に半分ぐらゐ

食料品の値上り対策は

三 浦 縣の商工課の近藤さんに最近鮮魚、野菜が天井知らずに値上りしてをりますが、國民健康保健の問題から將來どういふ具合になつてゆくか、食料品と物價といふことについてお話願ひたいと思ひますが……

近藤 主事 これは非常に六ヶしい問題であります。實は縣としては今のところ白紙の状態で、自分としてもまだ物價の問題について纏つたことを申上げるものを持つてをりませんが、先程お話があつたやうに、市場における物の値段は普通取引所といはれる所では規格の統一した物の市場の値段と、それから非常に迅速に配給される物の價格と、二ツの場合があるのであつて、生鮮食料品は需要供給が敏速に行はれるので、非常に急速に配給を完了しなければならぬ。従つて値段もその時の事情によつて決まる、即ち生産者はその定つた値段によつて生産するとか、或は出荷するとか出荷を控へる。消費者側、即ち魚屋さんなり八百屋さんなりも高ければ多少買ふのを遠慮する、安ければ

しか渡らないといふやうな凸凹はあるやうですが、これを均等にするには一べん農家に渡したものを取上げて再分割する以外には匡正の方法がなからうと思ひます。それで足らぬ所は只今谷口さんからもお話のやうに自給肥料の増産とか、肥培耕作方面の技術を最高度に御發揮になつたならば補つて行けるだらうと考へます。愛知縣としてどのくらい肥料が要るかと云ふと有機無機を通じて大體二十五萬噸乃至三十萬噸あれば十分です。これに對してどのくらゐ農林省から配給される御豫定かを計算すると、十八萬噸ぐらゐで三割見當足らぬことになりました。これを縣外から移入すべく縣の御當局の方へ始終御相談に上つてをりますが、最近はこの縣でも肥料の獲得戦が熾烈で縣外への移出を禁止してをりますから殆ど不可能であります。そこでこの足らぬ所は縣の方で綠肥を御奨励になり、市でも麻芥の處理に因る堆肥、農家の自給肥料等により最小限度一割以上收穫に影響することはなからうと私は思つてをります。

少しは澤山買ふといふやうに、値段も消費の方面その他いろいろ考へて、毎日の需要供給の關係から生れて來るのであります。従つて市場は獨立不羈の關係にあつて最も公平に値段を定める。つまり値段は生産と消費の關係によつて生れるもので、これが市場の價格の獨立性といふのではないかと思ひます。所が最近是一般の商品は九、一八の價格を釘付けにされてゐるから、生鮮食料品についてもその價格を將來どういふ風にしてゆくか、殊に生活必需品であつて米とか、麥に次ぐ重大な問題であるからこれをどうしたらいいかといふのが問題であります。結論は結局生産が増加されれば値段は問題なく解決するものであります。しかしながら生産を増加するには、或は肥料の問題、或は勞力の問題、その他いろいろの困難な問題があり、一面においては消費の方もどん／＼旺盛になつてゆく。このまゝであれば或る所まで物價が上るのは當然であるけれども、國民生活に必要缺くべからざるものであるから何とかせねばならぬ。そこで生鮮食料品の配給に關しても、いろいろ統制の問題が起つてきて生産から配給消費それ／＼の部門に亘つて農林省、或は商工省においていろいろの計畫があり、

又は進められてゐるやうであります。取敢へずの問題として、先程もお話があつたやうに東京においては特殊社會を設けて、そこから魚類なら魚類を市内百ヶ所の配給所に配給して販賣するといふやうに、どの都市においてもいろいろ計畫されてゐるやうであります。その成果についてはその値段についても將來いろいろの問題があらうと思ひます。しかしさうしたことは手數料、その他現在の名古屋の取引機構からみますと、名古屋としては東京、大阪等まで計畫されてゐるやうな方法は出來難いので、何とか他に方法を講じなければならぬといふ状態で、今その問題について研究中であります。少しわきへ外れましたが、とにかく外の綿布とか生糸といふやうなものは價格の規格が統一されてをり、且つ保存性が十分にあるといふやうな關係で先物取引等が行はれ、値段と現物との關係が調和されてゐる。さうして大體においてこれらの品物は生産原價によつて値段がきまるから所謂公定價格といふやうなものも定つてくる。しかし食料品になりますと生産原價によつて價格を定めるといふことは腐敗性或は迅速なる配給といふやうな關係上非常に困難であるから、どうしても市場價格を維

持するためには市場が適正な價格を定めることにしなければならぬといふことになつてくる。それにはどうしても需要者において市場といふものをよく認識し、これを利用して農さん連が買出しに行くといふやうな方面をだん／＼進めてゆかなければ、結局價格を下げるといふことはどんな方法を講じても六ヶしいのではないかと思ふ。だから將來は一般の家庭が小賣市場或は食料品について理解を得てゆくといふ方面に進んでゆくより外にはないのではないかと思ひます。

原料貯藏に非常な苦心

三 浦 調味料として榮養品として日本人に缺くべからざる味噌醤油について神谷合名の神谷さんお願ひ致します。

神 谷 氏 私共の味噌、醤油についてはお役所の方におかれてはよく御存じのこと、思ひますが、何分最近原料の大豆が滿洲から僅かしか入つて参りません。それに加へて商工省の配給値段と愛知縣の協定相場との間に七回

といふ開きがあり、さうして製品の値段は醤油は昨年の一、月三十一日に抑へられてゐるのであります。元來味噌屋といふものは一年位は貯藏しておかねばならぬが商工省の配給値段と縣の協定相場に七回もの開きがあつて、どうも自分の營業が不安になつてきます。高く買つて高く賣ればいいが、かういふ非常時にはあまり多くの利益を得ることは遠慮しなければならぬし、又値段が据置かれてゐるから事實上出來ません。しかし私共としては製造して直接配給してゐる關係上、お得意さんに品物を切らせてはいけない、消費者に迷惑をかけてはならないといふので原料の貯藏に苦心してゐるわけで、この點出來るだけ原料の配給を圓滑にして頂きたいと思ひます。味噌醤油類は日本人の生活の必需品であると同時に榮養上にも重大な關係があり、愛知縣内で消化される量は人口の割合から見れば一日二萬八千貫約一千四百樽であり、從來この原料の大豆は殆んど滿洲大豆を輸入してゐたもので、その數量は昨年までは全國に九十萬噸でありましたが、今年は昨年十一月に出來た滿洲の事實會社と商工省との間で配給制限が行はれ、約一割の九萬噸位に減じてゐます。その不足分は内地物で供給され

てゐるが統制の不備と商工省のわれ／＼業者への指導にも
缺陷があると思ひます。又生産地で既に大豆の生産も低下
してゐる事も原因してゐるので今年には實に高い原料を購入
しなければならぬ。九、一八の物價停止で賣價は上げる
事が出来ない。そこにわれ／＼の惱があります。目下の問
題は値上げです。

最近味噌醬油の縣内自給自足、縣外移出禁止の噂がある
がこれは實行出来ぬ事だと思ひます。業者としても従來の
取り引き先もある事ですし、全く困憊してしまひます。私
は會社は軍部への御用達と市内全市場へ配給してゐます。私
本社工場を額田郡本宿に有し創立は古く明治三十八年で大
正十一年に合名組織にしました。

罐詰の家庭使用は不可

三 浦 大口さん、罐詰製造業者のお立場から
何か、

大 口 氏 罐詰製造業者としての私から時局下に
申したい處は、われ／＼業者も物資統制によつて受ける影

した一つの方向に向つて歩むためには、この罐詰も輸出向
と軍需向きに局限されねばなりません。即ち一般家庭で
罐詰など召上つて頂いては困ると云ふ状態になるのが國策
の方向と申されませう。ここで罐詰製造業者の實情を少々
具體的に申せば、この罐詰と云ふものは味噌、溜、砂糖、
酢、ブリキ罐など常に多種類のものを必要としその一つが
なくても罐詰は出来ないのです。ところがそれらの殆ど全
部は統制品で、供給の圓滑を缺き中には十の原料のうち八
まで纏つたあと二あれば立派に製品が出来、即ちあと二
何とかせねば折角の八まで無駄になるとの考へからあとの
二で開取引を行ひ國策の歩調を紊すものもあるらしい現状
であります。例の九、一八物價に釘づけされて罐の如きも
實際は値上げされねばなか／＼出廻らぬ状態であり肝腎の
軍需、輸出向に對しても十分でなく、一方農林、商工省邊
りから配給されるものも、實績に徴して配給されると云ふ
ことが合理的ではあつてもなか／＼はかどらず、とかうす
るうちに最需期を逸して繁雜な手続きを経て業者が入手
する時はすでに季節外れだと云ふことも少くない。これら
の點は、當局でも萬全を期して、最善の手段を講じての上

響は頗る深刻で、従來の觀念からすれば洵にやりにくい
であるが、現在の統制、更に強化されると豫想される統制
は、所詮、國策のためであり日本が眞に榮えて行くための
ものであれば、一言の異議もなく、否この不自由を欣然甘
受して行かねばならぬと思ひます。商賣のやり難さなどは
大陸の第一線に尊い生命を捧げた忠勇な皇軍將士の上と思
ひを馳せたら問題にならぬことである。いや業者だけでな
く一般國民が第一線將士と同じ氣持で、即ち戦争に行つた
氣持でゐたなら物資不足、物價昂騰の最近の問題がもつと
緩和され國策への一抹の暗影が拂拭されると思ひます。處
が事實は軍需景氣とか何とか申す影響で百貨店などで見て
ゐる賣れ行きぶりは大したもの、今直ちに日常生活に必
要とも思はれぬ高價のものが、どん／＼賣れて行く等の一
例に見ても國策の方向に必ずしも全國民の足並が一致して
ゐるとは考へられない、眞に戒心すべきことではなからう
か。一寸餘談に亘りましたが現在の罐詰は、外貨獲得の役
割を果すため外國に輸出するもの、及び軍部の需要を充す
もの以外、即ち一般民間に消費される方面へは需要に應ず
る能力は自然になくなつてゐる。そして國家がはつきりと

のやむを得ぬ點であらうと思ふから、業者としては現状に
順應し、その範圍内で最善を期す以外方法はあるまい。開
取引を嚴として自戒せねばならぬことは、如何に業者に相
當の事由があつたとしても當然の義務であると思ひます。
要は國家があり軍隊があつての國民個々たるわれ／＼があ
ると云ふ考へからかゝつて行かねばならない。そして少く
とも私個人としては商賣は成立たなくても仕様がな。現
状のもとに喜んで損もし、喜んで商賣をやり備かつた場合
は喜んで献金しようと思ひます。これが時局下に生を
享けてゐる國民の態度と思ひます。少くとも戦後は東亞の
指導者として立つて行く日本の國民は、その實質を優秀な
ものとして行くために官民一致、即ち國民一般は政府の方
針を理解しいはゆる官の人はまた國民の事情に一層深い認
識を持つて協力し、また商賣にしても一方に頗るよいもの
があるのに、一方に頗る悪いものがあるなどの隔てを極力
なくして、國民全部が一つ塊りになつて事變處理にぶつ
かつて行く熱意と實力を作らねばなるまいと思ひます。か
うした見地からすれば戦時下の食糧と云ふ重要な問題の一
翼をおあづかりする罐詰業者の行くべき道も明確であり、

一般需要家の維持消費に對する態度も自然に分つて頂けると思ひます。

鶏糞の肥料價值再認識

三 浦 卵の不足が問題になつてゐますが、養鶏家も飼料が高いいのでかなり苦しんでをられるやうですが、服部さん、この問題についてどうぞ……

服部 氏 戦時體制下におきまして重要な役割をもつてゐる鶏であります。先程から肥料問題の話がありました。が、昨今やうやく日本において養鶏の重要性が認められたのは、鶏糞が肥料として相當の役割を持つといふ關係上、養鶏が再認識されたのであります。所が斯ういふ事變下である關係上、従來飼料になる穀類が滿洲國及び第三國を通じて一ヶ年四十萬噸前後輸入されてゐたものが輸入されなくなり、又内地で生産されてゐた四百萬噸の養鶏飼料等のうちから食料品の代用品に使はれるやうになつたので、内地の飼料が非常に不足するやうになつたのであります。大豆も農林省と滿洲國政府との間に御契約があるにも拘らず、

來ないので非常に窮屈を感じてゐるが、只今申上げたやうに肥料の重要性にかんがみ取敢へず現在の日本の羽数を維持するといふことに根本方針が決つたのであります。私共も斯ういふ時局であり食糧も重要であるから努めて駄鶏を淘汰して、優良鶏を成育させて卵の増産を圖るとともに、一面肥料の鶏糞を得ることに注意を喚起してゐるやうな次第であります。

鶏は二月から六月までの期間が産卵期で、七月から十月までが養産期でありまして、所謂鶏の衣更へで上用の被れから秋になつて羽が更はるのでこの間は卵を生まないのであります。只今は値段が統制されてゐるが、生ま物であるから一般商品のやうに高ければ増産するといふ自由のきくものでないから、春盛んに生む時には豊富にあるが秋には少くなる。だから冷蔵庫を利用して秋口に備へるやうにしたならば生産者も或る程度救済され、消費者も大都市の食糧關係の店の方々も非常に恩恵をうけられると同時に値段の均衡が保持されるのであります。が、昨今は戦時景氣とでも申しますか、大都市は總て非常な景氣に潤つてゐる關係上、この冷蔵庫も滿載滿腹の状態、卵の如きは名古屋

は勿論東西各都市何處の冷蔵庫も預つてくれない状態であります。

偶々先月廿八日に至つて我々が希望してゐた所の、従來は生産原價を割つた鶏卵の公定價格がやうやく御當局の肥料確保のために養鶏を保護するといふ立場から鶏卵の價格もある程度是正されたのであります。しかるに今は丁度最盛期にある關係で又元の値段に立返つたといふやうな、他の物價には一寸見られない珍現象を示してゐるのであります。これは今申上げたやうに今は一年中の最盛期であるが、これをあまり濫費しないで冷蔵庫に保管して養産期の配給に當てたならば結構だと思ひます。さういふ意味において今少し業者が御心配になつて冷蔵庫を創設されたら幸せだと思ひます。

國民は政府を信用せよ

三 浦 市の中川産業部長さん、食料品の配給機構は現在このまゝでいかどうかといふことについて御意見を承はりたいと思ひます。

中川市産業部長 さういふ題に合ひますかどうか、只思ひついたまゝを申し上げます。大體皆様がお話になつたので何ち申上げることがありませんが、一通り極めて常識的なことを申上げます。生鮮食料品の値を下げるといふも、高くならぬやうにするといふことは、先程もお話があつたやうに名古屋へ入つてくる量を多くする。或は消費を節約する、或は中間機關が有りすぎるならばその減少を圖るといふ三ツの方法しかないとと思ひます。しかしこれは工業製品と違つて高いから餘計作る。賣行きが悪いから減らすといふことは出来ない。従つて外の物のやうに簡單に値段を上げたり、下げたりするといふことは非常に困難な問題であると思ひます。そこで各方面に亘つて私共が考へねばならぬことは、賣る人も、買ふ人も、食べる人も、今は戦時下であるといふことを考へねばこの問題は解決しないと思ふ。肥料の商業組合のお話がありました。が肥料商業組合等でも、今までの利益の半分もないといふやうな酷い状態になつてゐるが、消費者においてもさういふことをもう少し考へれば消費の節約も必要であるし、今まで捨てゝゐた物も食べるといふやうな眞剣な氣持にならねば駄目だと思

ひます。この間も政府の或る大官が來ました時に、十五六人集つて經濟上の問題や社會情勢その他の問題について話合つたが、「一體皆さんは今戦争をしてゐると思つてゐるか」といふ話が出た。成程支那においては戦争してゐるが國內においては戦争してゐない。國內においては三度々々今まで通り御飯を食べ、かうして洋食を食べたり、花見だといつて浮かれてゐる。大戦争をしながら我々はかうして樂にやつてゐるのは日本の有難さであるが、斯ういふ呑氣な氣持で後二年なり三年なりやつてゆくといふことは無理であると思ひます。現在の機構をどうせよかうせよ、といふことは別に私案があるわけではないし、今の話のやうに官民協力して政府も我々を指導し、政府も實際のことは知らないから我々も政府の知らないことを教へてゆく。日本人は元來批判する國民で、政府が何か計畫しても批判してからやるといふことを聞いてゐるが、大部分の國民は政府のやり方を信じない。政府で本年は大増産だといふときつと減産に違ひないから、今のうちに用意しておくとか、これは絶対に價格を上げないといふと、そろ／＼上げるのだらうと思つて買ひ溜めをするといふやうに、政府のやり方

を信用しない。これでは駄目で國民は政府を助けてゆかねばならぬと思ひます。

當局は防犯主義で取締

三 浦

價格の問題が出ましたが、それについて經濟保安課の土屋さん御意見を伺ひたいと思ひますが、

土屋警部補

私の方は取締を擔當させられてゐるが、取締の方としては從來悪質及び重大犯を目標に捜査を進めてきたのであります。即ち防犯指導といふことに重きをおいて最も悪質のものに對してのみ檢舉して參つたのであります。重大犯、悪質犯といつても非常に抽象的で、いづれが重大でいづれが悪質であるかといふことはその時代によつて變つて參ります。社會事情も刻々變化して參りますからその時代に適應してこれは悪質であるか或は重大であるか、極度に統制を亂す恐れがあるといふ場合に取締を嚴重にし、或は緩和するといふやうな方法をとつてきてゐるのであります。左様な關係から從來、昨年下半年或は一昨年においては食料品は現在程に逼迫してゐなかつたので非常

に緩やかであつたが、御承知の通り最近になりまして食料品が非常に逼迫してきて、特に食料品の方面に對して統制を亂し、或は價格違反を行ふものに對しては取締を嚴重に致してをります。只今もお話がありましたやうに、從來はあまり目をつけなかつた昆布等に對して織物をやつてゐた方が、その方面に投資して買ひ占めをやられるといふことに對しては特に最近取締を嚴重にすることになつてをります。只今の買ひ占めをやつた者に對して取調べを進めてをります。只今の買ひ占めについては非常に強硬な態度をもつて臨んでをります。しかし勿論物資は御承知の通り値段の高い方に流れるといふ傾向は當然の現象であります。又多少でも取締りの緩やかな方に流れるといふことも自然の現象だらうと思ひますから、各關係地方と密接な連絡をとつて取締の均衡を失しないやうにやつてをります。今日も北信地方八縣の連絡會議がありまして、お互に並行して取締を進め特に食料品についてその話が進められてゐるといふ状態であります。なほ私共は取締の方面と、さらに一步を進めて機會ある毎に一般の方々に申上げてゐるのであります。食料品等に特に大切にして買ひたいとお願ひして

ゐるのであります。恐らく農村の方々や漁村の方々等、生産部面を擔當してをられる方々は我々と同じ考へであらうと思ひますが、都會の人は生産の勞苦を實際に味つてをられないから、勢ひ物資に對する觀念が乏しいといふか、粗末にするといふ傾向があるのではないかと考へてをります。それで米にしても麥にしてもその他のものに對してももつと考へを深くして頂きたいといふことを常に考へてゐるのであります。所謂生産者の勞苦に對してもつと感謝して頂きたい、一粒の米でも一個の野菜でも始終勿體ないといふことを念頭において頂きたい。三度の食事もその觀念を深くしてこれらの物は生産者の血と汗をもつて作つたものであるといふことを思つて頂ければ、自然と消費節約が實行出來ると思ひます。又消費の節約が出來なければ幾ら増産計畫が立てられても食料問題を解決することは六ヶしと思ひます。なほ又販賣の方面を擔當してをられる方々に對しても食料品のやうな、現在の時局に際して特に重要なものについては所謂國家の物資を預つて、これを各々消費者に圓滑に配給する使命を負はされてゐるのであるといふことをお考へになれば聖戰目的を達する上に非常な貢獻

をする意味になるのであると、常に機会ある毎に申上げて
ゐる次第であります。

栄養価と値段との関係

三 浦 市の衛生試験所の川茂さん、食料品と
栄養についてどうぞ：

川 茂 氏 大變皆様から色々有益なお話を承はり
ましたが實は私の方で、一般家庭の主婦が日常食品の經濟
的選び方についてどの程度の關心を持つてゐるかといふや
うなことを研究したのであります。名古屋の人口を戸數に
平均すると大體一戸五人ばかりになります、これを年寄
と夫婦と子供二人といふやうに假定してこの一家は栄養を
どのくらい攝つたらいいか、といふと大人四人分ぐらひに
なります。そこでこの四人家族の朝、晝、晩一日分のおか
すだけを五十錢、七十五錢と一回、即ち安いの中ぐらひ
とやゝいいのとの三組に分けてやつてみたが、私達が見て
ゐて感じたことは一家五人位の人數で五十錢ではなか／＼
出來ない。所が一回のものでもなか／＼出來ない。中間の

す。

問題の多い昆布の配給

三 浦 次は栄養上、保健上非常な成分をもつ
てゐる昆布について、愛知縣昆布卸商業組合の野田龍一さ
んからお話を：

野 田(龍)氏 昆布は皆様御存じの如く沃度を非常に
多量に含有してをりますから健康のためには最も適切なも
のであります。昆布の主産地は北海道、樺太千島、三陸等
の沿岸で獲れます、昆布加工の始祖の地は大阪、京都であ
りまして天正年間の頃より昆布を味で加工を施しこれを上
地の名物として賣り始めたもので三百數十年の歴史を誇る
老舗が數軒あります。

現在では昆布の加工卸業者は一萬數千軒に達し全國到る
處に昆布専門の店があります。

昆布の用途を申しますと日本料理、支那料理、西洋料理
の味出し用に、あられ、かきもち、味付海苔、等の醬油の
味つけ、蒲鉾、すしの御飯、漬物等に味づけ用として使は

七十五錢程度のものが割合によく出来る。それでももう少し
經濟的知識が徹底すれば、安く合理的なものが入つてゆく
のではないかと思ひます。それからカロリーについて調べ
て見ると御飯一ぱいが百七十から二百くらひあるが、百カ
ロリーを單位として、百攝るのに鰻の蒲焼は三十七八錢か
ゝる、安い物になると同じ百で「がんもどき」が一錢六厘
くらひ、大豆が一錢四厘、といふやうに、高いものと安い
ものとは大分違ふ。だからさういふ知識を一般的に持つ
て頂いたら大變いいと思ひます。

それから今節米がやかましくいはれてゐるが、名古屋で
も外米が入つてきました、一般家庭の主婦にお願ひした
いのは、米は昔からの習慣で非常によくとぐが、これは大
變栄養分を無駄にするから出来るだけそれを控へてもらひ
たいといふことであります。とげばとぐ程栄養になる米の
芽がとれてしまふからであります。混食は栄養の點からい
つても大變結構だと思ひます。代用食ですが名古屋では昔
から麵類が盛んであるが、只うどんを食べただけでは御飯
だけを食べたのと同じであるから、もう少し營養的に改良し
て月の何日に食べるといふやうに決めて頂きたいと思ひま

れてをります。

副食用としてはオボロ昆布、トロロ昆布、切昆布、昆布
巻昆布の粉末(御飯の上に振りかけて召上る栄養ゴマ鹽)
コブ茶等で御菓子には饅頭、せんべい、砂糖漬、衣がけ、
辻占昆布等であります。工業用としては醫藥の原料、製藥
原料、化粧品原料、一般糊料、耐水性ワニス原料、感光
劑、本絹、人絹、ス・フ等の糊、製紙(サイズ用)ゴム工
業(濃縮劑)として使用されてゐます。まだ此の外に食料
用工業用の用途は色々あります。

昆布の獲れます季節は毎年七月下旬より始まり十月まで
に終るもので、一般卸業者への出廻りは九月上旬に走り
(早く獲れたもの)が出廻りまして十一月中旬頃までに主
産地を殆んど出荷されるのが毎年の例となつてゐます。

昆布と一くちに申しましたも昆布は各沿岸の濱毎に品質
が相違致しまして値段も一ノ十三圓もあれば三圓もあると
云ふ甚だしい差がございます。

ですから業者はその上地向く品を選択する必要があります
です。賣買行為は従來自由經濟でありましたため、主産地
と消費地の業者は各自好みの品が自由に取引が出来たもの

であります。昨年(十四年度産)より漁聯が集荷、販賣の私的統制を實施し、その中間に(資本ブロック)を介在せしめ、その系統による地方ブロックへ配給し、その地方ブロックより業者が買ふと云ふ、配給方法でその土地の好みを知らずいづれの土地へも不向のものばかり配給したと云ふ始末でありました。これは業態を知らざる者が資本力によつて介在し配給機關を左右した結果であると思ひます。

九、一八の價格に除外例の内に昆布は含まれてゐるため業者以外の者が思惑的に買ひ煽り、或は投機的に買入したり、價格の釣上げ策を講じたりした者もあつて、生産者と業者の契約解除が續出し業者の豫想せざる價格となつたのであります。

業者はこの出廻り期に好みの品を自己の一ヶ年間賣るだけの數量を個々に買ふのであるが、第三者の際物商の如き行爲で昆布卸業者は何の益を得んやである。是れ即ち從來の直接賣買が中間に介在する第三者や権力團體に依つて幾つもの手数料を徴收されたることは低物價政策に反する悪質なる行爲あると思ひます。

投機的際物商に依つて昆布業者の商權を脅やかした事は

三、うちの品(漁業組合出荷の品)はどこで消化されるかそれを知らずには生産者として不安であり方針が定まらない。うちの品を扱つてゐる販賣部門と親密なる提携のもとに品質の改良を加へ、販賣部門(これは商業組合のこと)と締結して協力のもとに消費者に對し消化力の増加する方法を講じ、うちの品の消化販路の地盤を確保すれば漁民の悩みは一掃し安心して増産計畫を進めることが出来ると云ふ説。

かうした生産部門の主腦部の聲は何を意味することでありませうか。私の思ふには長い間不況のドン底で苦い經驗を味ひ、今は好況の夢で、いつこの夢が消へるか、それが心配の結果、永遠に夢の消へないやうに現狀維持に苦心し此の際確たる消化販路を獲得すれば價格は下落しても必要のない中間の手數料を省けば漁民の収入を減じないやうに方策を講究してゐるやうに考へられます。これは私どもの考へと一致する點があるのは大いに共鳴する處で、これが皆様方の御参考になります處がありますれば私は幸ひとする處であります。

業者として商權擁護の爲憤起せざるを得ない次第となつて、各府縣別で商業組合を設立し全然一丸となる全国昆布卸商業組合聯合會を設立するに至つたものであります。これからは、全昆聯聯合會をして主産地の生産部門との交渉機關として介在し第三者の介在を除き専門的業者を以て公平に具合よくその土地に向く品を配給する計畫であります。未だ收穫期に至りませんが、業者は中間に介在する第三者の動きを注視するものであります。

私が生産部門(漁業組合)の主腦部の方に五六人個々に面談し接致しました處以外な意見を聴きました。一、二、三、要點を申し上げます。

- 一、悪性インフレで價格は暴騰し漁民の増収は喜ぶもその反動で下落するのが恐ろしいからその對策を講究したいと云ふ説。
- 二、暴騰や下落を豫想するより此の際一定の水準點を定め商況によつて多少上下する程度の、明るい公平な價格は漁民が安心して獲ることが出来るから、その方法を何んとか考へたいと云ふ説。

食酢の家庭用は壘詰を

三 浦 マルカン酢の本店笹田さんの長江さんから♪ぞ：

長 江 氏 長期聖戰を遂行する爲めには或る程度の水準まで國民生活上必需品として私共の酢も供給を確保する必要があります。廣い意味で申しますれば私共も銃や劍は持つては居ないのですけれ共興亞建設の一員として大いに活躍して居る譯であります。

辱くも上は宮内省大膳寮殿の御臺所から下は我々の家庭のお臺所までも同じく一樣にお預かり申して居る次第ですから何としても生産を擴充して此の需要にお應へしたいと思ふのです。

時には陸、海軍の毎日の御獻立中に使用せらるゝは勿論ですけれ共大口で以て大陸等に輸送せらるゝものも特命が有りますので、かうした場合は何としてもお間に合せ致さねばならないのであります。御承知の通り此うした場合に於ては時日の猶豫が一刻もありませんので其の材料を蒐集する

のに殆んど閉口して困る場合があります。例へば炭、土冠、木函、釘、等總てが統制品になつて居るので、少なからず困難を感じまして東奔西走、走り廻つて材料の調達出来ない場合もあります。

勿論代用品は間に合ふだけは間に合せます。私共の食酢の原料としては酒粕と酒精が主原料であります。其の酒粕は例年の三分の一程度しか今年は入手出来ないものであります。其れは勿論節米に依る酒造石敷の減石に依り酒粕の出来高が少くなつたためであります。第二の原料として酒精でありますが此れも兩三年前より専賣品となりまして食酢に使用出来る分は極く僅かな量でして、軍需、衛生材料、重工業塗料、等の方面に割當てられて我々醸造酢として割當らるゝは五級品位になつて、仲々我々には割當配給が無いのであります。先づ申請量の三分の一程度より入荷出来ない状態ですから製造量は非常に低下して居る譯であります。加之肝腎の醸造期九月より二月まで節電でもつて動力は休電にて仕込も大變に豫想外に出来なかつた譯です。現今の四、五、六月の需要期を前にして全く心寒さを感じて居る譯であります。努力方面から申しましても雇入れたい

と思つても従業員の従來の缺員補給さへ至難にして殘業も許されず止むなく泣くに泣けない始末であります。而し乍ら各需要家はジャン／＼せめて参りますので、何とか無理をしても遮二無二濾過をして荷出しをする状態であります。勿論出来得る限り従業員を督勵して生産額の低下を防ぎ食酢としての必要品の供給に努力して居る苦勞は並大抵ではないのであります。

扱て何が原因かと申せば事變下に於ける人の動きが多くなつた事でありまして、人が動すれば何かと上產品とか接待用とかして大いにお壽司又は其他の酢の料理品の賣れ行きが大きいのと、もゝ一つ大なる原因は、合成酢が極めて少くなつたからであります。合成酢は即ち醋酸を稀釋して他の調味料を加味した酢でありまして、此の合成酢が全国的に相當醸造酢を凌駕する程旺盛であつたのであります。而し此の事變の爲めに醋酸が生産不足の上に軍需に使用せられ食酢として使用せらるゝ分は絶無と云ふ程僅少になつた爲めであります。

酢は嗜好品ばかりでなくて日本人の生活には必要缺く可からざる必要品として一日も缺く事の出来ないものになつ

て居ります酢は味覺を新しくして食慾を増進します。

病後の人が梅干を自然に欲するもの此の理であります。

マヨネーズ、ケチャップ、ソース、漬物類、例へば大陸向きに移出せらるゝものゝ加工品漬物は殆んど加味されて居るのであります。尙又酢の料理は單にお惣菜に時々使用する外何だか餘分の物の様に思はれて居りますが所謂同じ様な物ばかり食して居ると食慾が減退する場合に此の酢の物料理は新鮮なる味覺を呼び起すものでありまして保健上からも筋肉細胞組織の新陳代謝を盛んにならしむる重大性を持つて居ります。中にも海上生活者にして長らく土を踏まない人は如何にしても此の酢を地上生活者の三倍も攝取しなければならぬのです。それは土を踏まないと身體の總ての部分が硬直して参ります。帝國海軍の軍人さんが海洋の上で大陸封鎖の大任に當り乍ら御活動せらるゝは誠に其の任務たるや言語に絶する苦勞のある事と思はれます。此の場合酢の食物は非常に身體を潤滑に活動出来る要素を興ふるのであります。一方には老若ともに不老長壽の名薬にもなりません。それ故一般市場に食酢の無いと云ふ事は我々の日常生活に非常なる影響のあるものとなつて居りますし

て、既に目下今日の状態では随分需要家に影響して居るのであります。

當地は御承知の通り愛知縣は製酢王國とまで稱せられて全国的に醸造地となつて居ります。織田信長時代から三百年來の歴史を以て此の食酢の供給に盡力して大いに斯業に貢献して居る譯であります。而して當地はまだ／＼一般市民のお方のお豪所は勿論營業用として御不自由を掛けて居ない様にお努め申して居りますが東京方面の困り方は一通りでないのであります。東京市の鮭屋が既に半日營業とか三日目に一日休日とかと云ふ事になつて居りまして鮭屋轉じて飯屋となり并飯を賣る事になつて居る程であります。

別して營業用と申しますと廣い範圍で見ても頂きたいのです。先日東京の鮭屋さんがかゝる時代にも拘らず白衣の勇士の職間に此の握り壽司で御慰問申し上げた處非常に勇士諸兄も喜びになつたと申します。かゝる時代にこそ一層其の慰問された方も大きな犠牲を拂はれたは申す迄もなく、慰問せられた方も大變にお喜びになつた事と存じます。かゝるお方が有るにも拘らず、中には不正商人があらまして、神戸邊の鮭屋と思ひますが、壘詰酢の中に工業用の硫

酸を混入して賣出して其の筋に告發されたと紙上に傳へられました食用酢に工業用の硫酸を混入したる不逞の輩のある事は日本人として、何たる慨歎に堪へない事でありませうか。

私共は此の難所を如何に打開す可きか、而して如何にしたら曲りなりにも、此の一般世需を満足して其の不安を一掃出來得るや不休の撓まざる努力を覺悟せねばならないのであります。と同時に一般需要家におかされても出來るだけ餘分なものを使用せず必要以上お買上げになつて殘餘を捨てたり、或は又價格の安いものですから勢ひ餘分に買つて餘計に必要以上使用して残りは悪くして次には又新しい酢を買ふと云ふ事は一般の方も御注意下さいまして止めて頂きたいのです。其の點で將來は生まの樽詰物は營業用として御買上げ下さつて、一般御家庭向きは一度殺菌して永久に最後の一滴まで腐敗しない樽詰をお買求め願ふ様にないと思つて居ります。

主婦は市場へ出掛けよ

三 浦 佐々木市場課長さんに、名古屋の食料配給機關である市場についてお話が願ひたいと思ひますが

佐々木市場課長 名古屋には公設市場が十四、私立の民間の市場が八十六、合せて百の小賣市場があつて、これが昭和十一年から「相協力して食料品その他日用品の配給について使命を果す」といふ意味から市場協會といふものをつくり、私共も協力して配給の合理化を圖つてゐるわけでありませんが、最近はいろ／＼の物資が大變騰貴して配給の圓滑を缺くといふやうな状態になつたについて、特に市民の市場といふ立場から責任の重大さを感じていろ／＼計畫してゐるが、思ふやうに成果が擧らないので甚だ遺憾に存じてをります。事變以來非常に消費が増加してゐるといふことがはつきりと小賣市場の販賣状態に現はれてゐるが、これは申すまでもなくいろ／＼の産業の發達や生産擴充といふことに相應じて工業人口、商業人口といふか、勵らく方が多くなり、又一般大衆が裕福になり消費が相當増加する

といふことも當然でやむを得ないことであるから、これに對して出來るだけ配給を公平に圓滑にし、又需要の増加につけ込んで小賣商人が暴利を食ふことのないやうにせねばならぬと考へてをります。所が甚だ遺憾に思ふことは、事變以來の好景氣に酔つた方が無用の贅澤品の消費に多くの金を投じてをられるので、自然贅澤品が高くなつて工賃も高くなるから、日用品の生産部門の人までがそれ等の生産部門へ流れるので、益々日用品の生産量が減つてくる、従つて値も高くなる。だから根本問題は無用な贅澤品の生産を斷乎抑制し、日用品生産についてもつと具體的な方策を立てたいといふことを關係方面にお願ひしてゐるのであります。小賣商人に對してはまづ第一に政府において規定された適正價格、公定價格を最も正確に實行してもらふといふことが一番大切だと思ひます。又生鮮食料品については、日々の卸價格に準據した適正な小賣價格を勵行させることが一番大切であり業者並に我々の責任であると思ひます。それで只今相當数の係員が、毎朝卸市場で調べた相場によつて適正な小賣價格を定めてこれを各小賣市場に勵行させるやう、巡回してゐるのでありますが、未だその陣容は十

分でないから追々陣容を整備して適正價格を勵行させるやうにして、小賣販賣における暴利といふことは苟もこれ等市場においては絶対にないやうにしてゆきたいと思つてをります。それからもう一ツ考へてゐることはだん／＼好景氣になるにつれて家庭の主婦の方々が、家に坐つたまゝで御用聞から物を買ふといふ習慣に陥り易い方が相當あると思ふが、斯ういふ方々は運動にもなるし、毎日市場へお出でになつて直接現物を見て比較對照して品物をお買上げ下さるやうにお願ひしたい。現物を見れば値段と比較して一番安い有利なものとはどれか分る。御用聞は非常な努力を要するし、大抵通帳制度で掛賣りするから掛の損害を消費者に負擔させるといつた關係で、賣買差益を大きくしなればやつてゆけないといふこともある。又御用聞は見かけどおりといふか、家に坐つて買ふ人には公然高く賣るといふ習慣があつて、やはり毎日店に出かけて買ふといふことが小賣價格の適正を維持する上において非常に有効なことがあると思ひます。又は商人からの具體的なお願ひ、市場からのお願ひを聞きとるといふやうな講習會を開きたいといふ計畫をもつてをります。何といつてもかういふ戦時下に

おいては家庭方面の關係者が協力して頂くといふことにならなければ到底目的を達することは出来ないと思ひまして、市場の商人も非常に張り切つてをります。

國民食と軍隊食の一致

三

浦 森永製菓さんは大分以前から戦時非常食糧について御研究になつてをり既に乾パンも出てをりますが、齋藤さんから代用品と戦時食料品について伺ひたいと思ひますが……

齋藤

氏 食料の生産業者としては生産と消費の合理化について常に考へてゆかねばならぬと思ひます。それにはまづ食糧といふものは思想と非常な關係があるといふことを考へるべきで、食料を單に部分的に論ずるものは間違つてゐると思ひます。時局認識と日本の現在の立場からもつと大きく考へねばならぬと思ひます。昭和十三年に各縣において戦時食糧の座談會があつて出席した時、「日本は近いうちに食糧に不自由する時が必ず来るから、今から心がけてゆく必要がある。それには雜穀の活用、海産物の

活用、蔬菜類の培養といふことが必要である」といふことをお話したが、その時の各地の皆様の意見を綜合すると、「日本は食料に恵まれてゐるから心配はない、それよりも榮養について研究する必要がある」といふことを聞かれました。さて食糧には勿論米、麥その他の穀類等いろいろありますがこれについて、日本の主食を補ふべき新資源を起さねばならぬと思つてをります。それから海産物の活用といふことも大切であり、商業工業の發達も日本の將來に對しては勿論必要であるが、日本の國體上農業を無視して商業も工業もないと思ふのであります。要は日本の食糧問題は新資源を開くといふことを相當考へねばならぬと思ひます。戦時體制下においては國民の食糧と軍隊の食糧を分けて考へる事は出来ないで、もつと軍隊食と國民食との一致點を見出すことを研究せねばならぬと思ひます。次に日本の子供の體位向上には運動も必要であらうし、心構へも必要であらうが食料の問題も大切だと思ひます。また各家庭の食料の研究は非常に大切なことであつて、生産業者の理想と消費者の理想が合致したものが眞に理想的生産であり、消費品であつてこれが人間の生きるものの全体であると思

ひます。今まで斯ういふ座談會が何處もありまして、専門的な話が多かつたが、又必要であるが、要するに綜合して「之である」といふ解決を與へて貰ひたいのが國民の希望であつて、これは新聞社にお願するのが當然かと思ひます。新聞紙を通じて國民の食糧問題の行くべき途を指導願へれば結構だと思ひます。

國策に沿つての配給振

三

浦 森永製品東海販賣株式會社の佐々木さん、食料品の販賣についてお話が承はりたいと思ひます。

佐々木(權)氏

我々の方は主として製品の配給を受持つてゐるのでありますが我々は戦時下國民に缺くべからざる食料品を合理的に、圓滑に價格も政府の方針に則りまして適正價格によつて配給するといふ使命の下に、又さういふことによつて幾分でも國家に微力を盡したいといふ考へをもつて配給してゐる次第であります。しかし只配給するだけでなく先程、國民はまだ戦時下食糧問題を認識してゐないといふお話であつたが戦時食を國民食に一致させる

といふ意味の下に、消費大衆をそこまで指導し、一旦有事の場合は一般業者もすぐ戦時食料品の配給が出来るやう、それにはやはり平時において消費者の訓練が出来てゐないといけないから、さういつた使命の下に戦時食品と國民食の一致點を見出したい。又目下喧しく言はれてゐる價格の問題についても國家の方針に従つて進みたいと思つてをります。

家畜飼ふには先づ餌を

三

浦 次に農務課長さん何か……

松尾農務課長

一寸遅れて參りましたことをお詫び致します。いろいろ皆さんからお話がありました。食糧と飼料の關係についても餘程飼料を増産しないと家畜の方が食糧に食ひ込んで来る。實は私共の方で十二月から本年三月迄の八名、渥美、寶飯(豊橋を含む)で鶏の餌料に麥からどのくらゐの要つたかを調べた處一萬二千餘依に上つてをる。又乳牛にも米を食はせる傾向が現はれてをる。つまり物價が騰れば餌料が高くなる。牛乳も高くなるから米麥を食は

しても結構引合ふ。そこで人間の食糧に家畜が食ひ込んで来たから家畜を持つて居るものは必ず餌料を作るといふ運動を起さねばならぬ。學校の運動場の一角とか、空閑地に小麥か燕麥を蒔けば相當收穫が得られる。餌料が足らぬといつても二三割ですから十分補つて行けると思ふ。而してこれは食糧對策の上からも肥料對策の上からも、或は勞力の合理化の上からも極めて必要であるといふことを痛感してをります。

食糧は彈藥と同じなり

三 浦 最後に總括的に二師團經理部の高木中

佐殿から戰時食糧についてお話を願ひます。

高木中佐 私はつい先日戦地から歸つて參つたばかりでありまして、十分に内地の事情がまだわかつてゐないのでありますが、ともかく物資が不足してゐるといふことだけはたしかのようです。中でも食糧が、最も不足してゐるといふ感じを興へてゐる。よく調べて見ますと、食糧はあるにはあるのだが、中々市場に出廻はらない。市場に

出廻らねば一般の消費者が困る。かく申す私共軍隊も只今のところ購買には若干苦心をしてゐるのであります。本日此處にお見えになつてゐる皆様は夫々戰時食糧の中樞に關係してゐられる方々ですが、お互ひに現下戰時食糧問題の解決といふことには頭を悩ましてゐられると思ひます。戦争は無論軍隊ばかりで出来るものではありません。銃後國民の熱意ある後援の賜といふものがなければ到底光輝ある最後の勝利といふものは得ることは難しいのであります。就中彈藥と並び稱せられる食糧問題が今日の如き有様では眞に心細いのでありまして、私共軍隊給養の衝に當つてゐるものから云へば戰時食糧の確保、圓滑なるその配給こそ最も望ましい處であります。

今日食糧問題が特に八釜しくなつて来た原因には種々ありませうが、例へば價格の問題、配給機構の關係、諸物資の偏在等、皆一々御尤もなことでありませうが、かゝる事は一言にして云へば、國民の誠意、聖戰完遂に對する國民の熱意がありさへすれば一氣解決出来ることであらうと存じます。ドイツや、イギリス、フランスの事を考へてみますと、是等の諸國は開戰半歳になるやならずで、支那

事變勃發後三年に垂々とする我國に比べて遙かに高度の統制された戰時經濟生活を送つてゐます。中でも食糧は最もひどく、最近になつてこの問題の起つて来た我國とは比較にならぬ程であります。

我々もつともつと統制され、窮屈化されて来ることを豫期せねばなりません。まだ最近のことはホンの序の口でありまして、これからは眞にドンなことになるかわからぬ。その時のことを今から覺悟して用意しておかねばならぬのであります。

然しこれからの問題も要は國民相互が、誠意を示し合ふことによつて容易に解決することでありまして、農村の方で、肥料、飼料がまはらずとも、よろしい國家の爲だ、とれた米は出さう。麥はあるだけは賣らうといふことになれば、都會の人たちは、どんなに喜ぶか知れませんが、又都市で商工業を營んでゐる人たちもどしどし農村の希望を適えて、日用品、生活必需品を送り出すやうにすれば農村からもどんなに感謝されるかわからぬと思ふのであります。

幸ひ私の方では、糧友會といふ食糧問題専門の團體があつて、事變前から夫々この方面の事柄を擔當して多少なり

とも貢獻して居ります。折角皆様にもこの台を御利用になりまして、食糧問題解決の一端にでも資し下されば結構と存する次第であります。

三 浦 それでは大分長くなりましたので、この邊で打ち切りたいと存じます。皆様、大變御熱心に有益なお話をいただきました。ありがとうございました。

贅を盡す味覚の極致
太陽ケチヤップ
太陽ノース製造本舗
早川食品工業所

403
69



永森

ベントウ

榮養口糧

おかず入

最高榮養



昭和十五年五月十九日 印刷
昭和十五年五月廿四日 發行

(非賣品)

編輯者
發行者

佐藤至善
名古屋市西區南驛町八

發行所

新愛知新聞社

印刷者

名古屋市中區南榮町二ノ二
高橋通平



萬漬物罐詰製造問屋加工部
促成園藝青果物問屋青果部



合名
會社

中村録吉商店

東京支店

愛知縣西枇杷島市場
電話西一五七九〇番 二一九〇番
一三六〇番 一六六〇番
振替名古屋三〇一
電略(ナカ)又(ナ)
東京市神田區三崎町二ノ一九
電九段三五五七番

終